

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 更別村立更別小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 所在地 〒089-1532
北海道河西郡更別村字更別南1線101番地
 E-mail sarasho@sarabetsu.ed.jp
 Website _____
 児童生徒数 男子 85名 女子 81名 合計 166名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①地域の自然や産業に学び、人々とのふれ合いや体験活動などを通して、ふるさと更別を愛し、ふるさとの誇りを持つ子どもを育てる活動。

○農園活動

農業に従事するPTAの協力をいただき、学校農園で、地域の主産業である農作物の栽培を学年単位で行った。児童が育てた野菜は、秋に学年毎に収穫し試食した。

○JA 更別青年部との交流

JA 更別青年部の協力により、5年生が大豆の栽培に取り組む。5月に種まき、9月に枝豆を収穫して試食。10月に大豆の収穫、12月に豆腐ときな粉を作り試食した。

○ふれあい郵便

異世代間での交流を目的に、村内在住の80歳以上のお年寄りの方々を対象に、全児童で手紙を書いた。

○村民参観日

全更別村民の方を対象にした村民参観日を実施した。この日は、保護者はもとより、地域に住んでおられる方、また、村外に住んでおられる児童の祖父母の方も来てくださった。

○本の読み聞かせ

地域の読み聞かせボランティアグループ「おはなしを楽しむ会おひさま」の皆さんが、月に1回休み時間に来校し、児童に本の読み聞かせをしてくださった。

○幼・保・小・中・高の連携

村内の幼稚園児・保育園児と1年生が本の読み聞かせと一緒に参加したり、調理実習などの活動を行ったりした。村内の小学生との合同学習や、高校生と一緒に学校花壇の花植えなども行った。

○全校縦割り活動

1年生から6年生までの全校児童を8つのグループに分けた活動を行った。校舎外清掃、ゲーム等、高学年が中心となって勤労生産的な活動や集会等の活動を実施した。

○児童会活動

児童会の活動として、玄関前で行うあいさつ運動やあいさつキャンペーン、児童が行う本の読み聞かせ会、ゲーム集会等子ども同士が触れ合う取り組みが多数行われた。

②本校における教科や総合的な学習の時間など様々な活動（人権・平和・環境・福祉・産業・伝統・情報・文化・地域貢献）の継続と充実を通して「持続可能な社会」「郷土の未来」を担う子ども達を育てていく活動。

○特別養護老人ホーム「コムニの里」訪問

4年生が7月にコムニの里を訪問し、音楽の発表やお年寄りの皆さんとの交流を行った。

○更別村総合文化祭「芸能発表会」参加

3年生が11月に行われた更別村の芸能発表会に参加し、地域の方に音楽の発表を行った。

○いじめをなくそう宣言

本校では児童会が中心となり、平成19年に「いじめをなくそう宣言」を制定している。全校朝会の時は、児童会役員の進行で全児童が朗読している。

○緑の募金・赤い羽根共同募金・リサイクル活動

児童会代表委員会が中心となって、「緑の募金」や「赤い羽根共同募金」などの取り組みをした。集めた募金は、村の社会福祉協議会を通じて苗木の購入に使われたり、村の福祉に役立てられたりしている。また全校の取り組みとして、牛乳パックのリサイクルやゴミの分別、節電に積極的に取り組んでいる。

○茶道体験

2月に5年生が更別村茶道サークルの協力をいただいて茶道体験授業を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）